

| 授業科目名 | キャリアデザインⅡ | | | 担当教員 | 専門基礎、看護の基盤、 クリティカルケア、老年・慢性看護、 精神看護、在宅看護、 成育看護（小児・母性）領域の教員 |
|----------------------|---|-------|--|----------|--|
| 開講年次 | 4年後期 | セメスター | 8 | 時間数(単位数) | 30(2) |
| 必修選択 | 選択 | 授業形態 | 講義 | 使用教室 | |
| 授業の目的 | 看護職者としての自己の課題を認識し、キャリア形成の基礎力と専門職として必要な知識を習得する。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人及び専門職として求められる人物像を考えた上で、専門職としての自己の強みと課題を認識することができる。 2. 卒業までに必要な知識について、自己学習計画を立案することができる。 3. 社会保障を踏まえ、健康支援能力を向上させることができる。 | | | | |
| ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ | 卒業間近の時期において開講する科目であり、現時点での自己の課題を認識し、目標設定して学習することにより「自己教育力」を身につけることができる。また、既習の知識をさらに深化させる取り組みにより「看護の専門性を探究する力」を身につけることができる。 | | | | |
| ディプロマポリシーとの関連 | 人間の尊厳と権利を擁護する力 | 自己教育力 | チームで働く力 | 問題解決力 | 看護の専門性を探究する力 |
| | | ◎ | | | ○ |
| 授業計画 | | | | | |
| 回 | 授業内容 | 授業方法 | 学修課題 (予習・復習) | 取組時間 | 担当者 |
| 1 | 科目 OR 事例紹介 人体の構造と機能 | 講義 | 復習：人体の構造と機能の内容を復習する。 | 60分 | 教務委員長 専門基礎領域 |
| 2 | 事例に基づく社会保障制度 | 講義 | 予習：人の一生で、必要時受けることができる社会保障制度を復習してくる。 復習：社会保障制度領域の過去3年分の過去問を解く。 | 60分 | 老年看護領域 |
| 3 | 合併妊娠（糖尿病）の妊娠期・産褥期の経過と看護 | 講義 | 予習：合併妊娠（糖尿病）の妊娠期・産褥期の経過と看護に関する国家試験過去問題 復習：小テストの見直し | 60分 | 母性看護領域 |
| 4 | 小児期に特徴的な疾患・治療と看護（新生児黄疸、光線療法） | 講義 | 予習：低出生体重児、極低出生体重児の特徴とその看護の復習 復習：過去問を基に小テストによる見直し | 60分 | 小児看護領域 |
| 5 | 小児期に特徴的な疾患・治療と看護（川崎病、急性リンパ性白血病、ネフローゼ症候群） | 講義 | 予習：川崎病、白血病、ネフローゼ症候群の経過と看護の復習 復習：過去問を基に小テストによる見直し | 60分 | 小児看護領域 |
| 6 | 成人期に特徴的な疾患・治療と看護（がん） | 講義 | 予習：がん看護（疾病と治療を含む）がん看護に関する国家試験過去問題 復習：小テストの見直し | 60分 | 慢性看護領域 |

| | | | | | |
|----------|--|----------|---|-------------------------|------------|
| 7 | 成人期に特徴的な疾患・治療と看護（急性期：解離性大動脈瘤、ショック、術後看護） | 講義 (ICT) | 予習：解離性大動脈瘤、ショックに関する知識の整理、および国家試験過去問題 復習：小テストの見直し | 60分 | クリティカル看護領域 |
| 8 | 成人期に特徴的な疾患・治療と看護（糖尿病） | 講義 | 予習：糖尿病（疾病と治療Ⅱおよび慢性看護Ⅱ）、糖尿病に関する国家試験過去問題 復習：小テストの見直し | 60分 | 慢性看護領域 |
| 9 | 思春期から成人期に特徴的な疾患・治療と看護（統合失調症、気分障害） | 講義 | 予習：統合失調症、気分障害に関する国家試験問題見直し（第104～第108回） 予習：小テストの見直し | 予習 120分 復習 60分 | 精神看護領域 |
| 10 | 老年期に特徴的な疾患・治療と看護（認知症） | 講義 | 予習：4つの認知症に関する復習と国家試験過去問題 復習：小テストの見直し | 60分 | 老年看護領域 |
| 11 | 在宅看護の特徴と主な制度 | 講義 | 予習：介護保険制度、医療保険 上記に関する国家試験過去問題 復習：小テストの見直し | 60分 | 在宅看護領域 |
| 12 | 在宅療養者とその家族への看護 | 講義 | 予習：難病（ALS、パーキンソン病） 上記に関する国家試験過去問題 復習：小テストの見直し | 60分 | 在宅看護領域 |
| 13 | 成人期に特徴的な疾患・治療と看護（慢性腎不全とその合併症） | 講義 | 予習：腎臓病・慢性腎不全（疾病と治療Ⅱ、慢性看護Ⅰ） 上記に関する国家試験過去問題 復習：小テストの見直し予習 | 60分 | 慢性看護領域 |
| 14 | 老年期に特徴的な疾患・治療と看護（摂食・嚥下障害と誤嚥性肺炎、大腿骨頸部骨折） | 講義 | 予習：摂食・嚥下障害と高齢者に起きやすい骨折に関する復習と国家試験過去問題 復習：小テストの見直し | 60分 | 老年看護領域 |
| 15 | 看護職の多様なキャリア 各回の小テストに関するフィードバック | 講義 (GW) | 予習：自分が描くキャリアデザインをレポートにまとめる | 60分 | 看護の基盤領域 |
| 先行履修科目 | | | | | |
| テキスト | 特に指定しません。 | | | | |
| 参考文献 | 必要に応じて提示します。 | | | | |
| 評価方法 | 試験 100%（各回、小テストを実施し、その合計によって評価する） | | | | |
| 教員等の実務経験 | 看護師の臨床経験を有する教員が、経験を活かして各学問領域の専門知識について講義します。 | | | | |
| メッセージ | 最後のセメスターの講義になります。看護職となるための各々の課題を見出し、卒業後に必要となる専門知識を習得してください。選択科目ですが、できるだけ履修することを勧めます。 | | | | |